

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	若者対象コース		
事業名	若者と地場 IT 産業をネットワーク化した実践型教育プログラム		
法人名	学校法人日本コンピュータ学園		
学校名	東北電子専門学校		
代表者	理事長 持丸 寛一郎	担当者 連絡先	課長 村上 洋樹 Tel 022-227-1844
1. 事業の目的			
<p>「きつい、厳しい、帰れない」の新 3K と呼ばれる情報サービス産業はマイナスイメージが先行し、若者の業界への就業機会を逃す一因となっていた。そこで未曾有の経済危機の今こそ、優秀な若者を地場 IT 産業へ就業拡大を図るチャンスである。</p> <p>養成する人材には、業界からのニーズが高い Java プログラミングを初めとした情報教育や資格取得等の専門的学習と、ヒューマンスキルトレーニング及びビジネスマナー・ビジネススキル教育を実施し、就業能力を格段に高めていく。</p> <p>また（社）宮城県情報サービス産業協会の協力を得て、地場 IT 産業を中心とした若者と企業の就労支援ネットワークを構築し、企業説明会・講演会・学習成果発表会など出会いの場を多く設定し互いの理解を図る。</p> <p>5ヶ月を想定する一連の実践型教育プログラムによって、やる気はあるが情報処理知識がゼロベースの若者を優秀な即戦力人材に育成し、IT 産業立県を目指す宮城県に大きく貢献する。</p> <p>講座開設に当たっては受講者満足度 80%以上、受講生の講座終了後 3ヶ月時点での就職率を 60%以上に設定する。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>□カリキュラム作成に当たっては以下の 4 点を中心に構成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Java プログラミングを中心とした 4 ヶ月間の教育体系</li> <li>・ 業界ニーズに即した 1 ヶ月間の企業実習プログラム</li> <li>・ 業界ニーズに即したヒューマンスキル・ビジネスマナー等のカリキュラム</li> <li>・ 企業ネットワークの構築とタイムリーかつ適切な内容を盛り込んだ企業座談会・講演会のコーディネート</li> </ul> <p>□開設講座数： 1 講座</p> <p>□総授業時間数：座学 80 日間（1日6時間） 480 時間</p>			

職場実習 20日間（1日8時間）160時間

□開設期間：9月28日～3月3日

□内容・構成

○開発演習：WEBアプリケーション開発実習

企業内での開発作業を想定し、様々な制約条件の中でどのようなアプリケーション構築が可能か判断させ、分析／設計力を養う。及び、設計書を基にして期限までにシステムを完成させるといった、納期の重要性を身に付ける。

○ヒューマンスキル及びビジネスマナー・ビジネススキル教育

就職活動と就職後にあたっての必要不可欠な能力である意思疎通能力・表現能力・一般常識等の習得

○企業実習

受講生と受入れ企業の要望を調整し、IT企業8社にて実務訓練をおこなった。

○企業説明会・講演

9回（社）実施

○学習成果発表会

2回実施、合計13社参加

②受講者の募集方法（手法・期間・効果）

□受講生の募集は主に下記の募集手段で行った。

①宮城県広報誌8月号掲載

②求人広告誌8/3号掲載

③専用のホームページ

④ジョブカフェ、ハローワーク（宮城県内5ヶ所）など公共機関への紹介協力依頼

⑤本校社会人講座終了生へ案内・紹介依頼

□講座説明会を6回実施し44名が参加した。

第1回：8月6日（木） 第2回：8月21日（金） 第3回：8月29日（土）

第4回：9月4日（金） 第5回：9月9日（水） 第6回：9月12日（土）

※各1時間の開催

□講座説明会集客の広告効果について、上記募集手段ごとの人数を以下に記す。

①24人 ②5人 ③2人 ④15人

□応募状況と選考

定員20名のところ40名の応募があった。

選考は書類審査・適性検査・面接によって就職意識が高い方20名を受講者とした。

③受講者の状況

男性17名、女性3名

平均年齢25歳

全員がアルバイトか求職中である。

④受講者の意識調査等

受講者満足度調査は以下の通りであり、講座全体を通して大変満足、満足が合せて90%であった。

### ⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

受講者20名中、途中で就職、退校した1名を除く19名が規定の出席時間数に達したため受講証明書を交付した。

またジョブカードを発行し認定員の証明を受けた。

19名中1名を除く（家庭事情で就職ができなくなった）18名が就職活動中。

3月3日講座終了のため本格的な就職活動は始まったばかりであるが、3名が職場実習先と就職についてコンタクトを取っている。

### 3. 事業の評価に関する項目

#### ①当初目的の達成状況

受講者満足度は90%で開始時の目標を達成した。

就職率は今後追跡調査を行う。

#### ②事業の成果及び改善点

- ・ Java プログラミングを中心とした4ヶ月間の教育体系の完成
  - ・ 企業講演・説明会から職場実習受入に至る地場 IT 企業就労支援ネットワークの構築
- ※ネットワークに参加・協力する企業の更なる掘り起こし・協力依頼が必要である

#### ③次年度以降における課題・展開

- ・ Java プログラミングを中心とした4ヶ月間の教育体系は実証できたと考える。今後は組込み系技術で必須のC言語での教育体系の開発を検討する。
- ・ （社）宮城県情報サービス産業協会と協力関係を深め、地場 IT 産業を中心とした若者と企業の就労支援ネットワークを拡充する

#### ④成果の普及

- ・ 当校の生涯学習へ導入し、他教育講座のモデルとして継続的な発展を図る。
- ・ 他専門学校へのモデル提案を通じて教育プログラムの拡大を検討する。
- ・ 同プログラムの（社）宮城県情報サービス産業協会を通じた業界団体への啓発活動